

牧野富太郎が みつめた植物

—植物標本が語るもの—



大谷茂学芸員に宛てた牧野博士の手紙（昭和15年）

晩年の牧野博士（昭和19年）（撮影：大谷茂学芸員）

2023 3.18日-6.18日

横須賀市自然・人文博物館 / 本館3階

【お問合せ】横須賀市自然・人文博物館

横須賀市深田台95 TEL. 046-824-3688



【協力】

東京都立大学 牧野標本館

高知県立牧野植物園

神奈川県立生命の星・地球博物館

神奈川県植物誌調査会

入場
無料



牧野富太郎がみつめた植物 — 植物標本が語るもの —

日本を代表する植物学者・^{まきのとみたろう}牧野富太郎博士(1862～1957)は、「日本の植物学の父」といわれ、多くの植物を記載してきました。博士は、三浦半島はじめ神奈川県内においても広く植物を収集・調査した記録があります。わたしたちにとって身近な箱根や神武寺にも博士が訪れていました。

また、牧野博士は全国の植物愛好家との交流と指導を積極的に行っていました。当館の初代植物担当学芸員である大谷茂も指導を受けた1人です。当館には、牧野博士から送られた自筆の手紙や原稿が収蔵されています。

若き牧野博士が植物学を志していた明治時代初期、横須賀製鉄所の医師サヴァティエは日本の植物研究を精力的に行い、『日本植物目録』を出版する等、多くの功績を残しました。植物研究の歴史がある横須賀の地において、あらためて植物標本の意義や美しさに迫ります。



マメザクラ
Prunus incisa
バラ科
箱根町足柄山
1919年
牧野富太郎 採集



フモトカグマ
Microlepia pseudostrigosa
コバノイシカグマ科
逗子市神武寺
1920年
牧野富太郎 採集



ナツミカン
Citrus natsudaidai
ミカン科
横須賀市深田台
(栽培)
2016年
加藤英寿 採集・製作

みどころ

- ・牧野標本
牧野博士が採集した植物標本を20点以上公開！
- ・初公開！
牧野博士自筆の手紙や原稿を展示！
- ・美しい標本
近年の技術と工夫によって製作された野菜や果物の標本！ [標本製作：加藤英寿（東京都立大学）]
- ・未来へつながる標本
標本を活用した最新の研究事例を紹介！ [監修：岩崎貴也（お茶の水女子大学）]

資料保存の観点から、展示期間中に展示替えを実施します。ご了承ください。

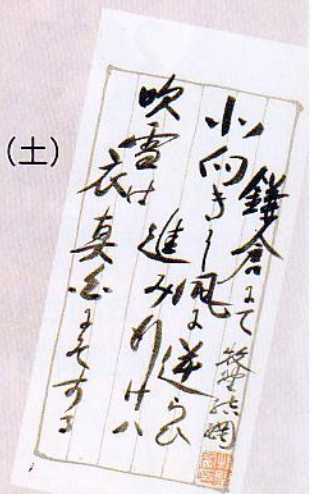
関連企画

展示解説 2023年3月18日(土) 14:00～15:00 事前申込不要
5月3日(水・祝) 13:00～14:00

関連行事 「はじめての植物標本づくり」 2023年6月17(土)・24日(土)
14:00～16:00
定員20人 参加費200円
事前申込制・連続講座

巡回展示

- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡県静岡市駿河区大谷 5762）
2023年7月1日(土)～9月3日(日)
- ・東京都立大学 TMU ギャラリー（東京都八王子市南大沢 1-1）
2023年11月以降（予定）



牧野博士が詠んだ歌
(昭和18年)